



学校だより

自立真明 Part2

学校教育目標

自立心に富んだ 共に学び合う子の育成

第16号 令和元年9月11日

鯖江市神明小学校
校長 加藤 健二

★市連合体育大会、壮行会…9月9日(月)、本番を前に！

本番を前に、東公園陸上競技場で開催される市連合体育大会の壮行式を神明っ子集会で行いました。6年生の代表2名が選手代表の言葉を述べました。6年生の8の字回旋跳びの選手による、1分間跳びの披露がありました。2年目の6年生はさすがにテンポもよく、「ハイ！ハイ！」とかけ声に合わせてチームワークよく跳んでいました。また、4日(水)と7日(土)には陸上競技場で練習を行いました。壮行会の時には、私からは次のような話をしました。なお、大会は12日(木)に延期して開催されることになりました。

五・六年生の皆さんは、夏休みの終わり頃から連合体育大会の練習に取り組んできました。いよいよ十一日(水)に、その練習の成果を発揮する本番を迎えます。練習の成果を存分に発揮し、みんなが笑顔になるための心構えについて、「元氣・本氣・根氣」の合言葉に関連づけてお話をします。

「元氣」は言うまでもなく、「今日ががんばるぞ」という心の元氣、「全力を出し切る」体の元氣と考えればよいと思います。「本氣」は「集中力」と考えてほしいと思います。スタートするときの集中力。全力を出し切るためにも、これまで指導を受けたことなどを思い返して、スタートに集中してください。特に、全員走や短距離走はスタートが大事です。八の字回旋跳びも出だしが、とても大事だと思えます。「根氣」は「最後まであきらめない」こと。全員走ならば、ゴール前で一人でも抜いてやるという気持ちでゴールを駆け抜けてほしいと思います。

最後に、スタート前のドキドキする緊張をほぐす方法を教えてください。鼻から息をゆっくり吸って、口から静かに息を吐く深呼吸を三回しましょう。そうすると、リラックスの中にも、よい緊張感の中で力を出し切れると思います。試してみてください。それでは、スタート前に「元氣・本氣・根氣」の合言葉とともに、今日お話ししたことを心にとめて、一生懸命がんばる神明っ子が陸上競技場にあふれることを期待してお話を終わります。



★吹奏楽部、神明地区敬老会で演奏…新人は演奏の初披露

9月8日(日)に神明公民館で開催された神明地区敬老会に、吹奏楽部員が演奏を披露しました。新入部員の子どもたちは、担当する楽器毎にソロやグループで童謡を演奏しました。毎年ここが新入部員の子どもたちの演奏の初舞台になっているそうです。緊張しながらも、日頃の練習の成果をしっかりと発揮し、心のこもった演奏に大きな拍手をいただくことができました。



★図書ボランティアの方の読み聞かせ、2年生・・・「読書の秋」、本とのふれあい

本校の図書ボランティアの方が、2年生の子どもたちに業間活動の時間を利用して読み聞かせをしてくださいます。4名のボランティアの方が4つの教室に分かれ、「ほんとおおきさ 水族館」、「それなら いい いえ ありますよ」、「りんごかもしれない」、「しゃっくりがいこつ」という題の本を1冊ずつ読んでくださいました。子どもたちは、題を見て好きな教室へ移動して読み聞かせを楽しみました。

「読書の秋」です。家族で同じ本を読んで話し合ったり、別々の本を読んでお互いに本紹介をしたり、もちろん絵本などを読んであげたりと読書を通したいろいろな楽しみ方があります。お家の方といっしょに、本とふれあう機会が増えるといいなと思います。図書ボランティアの皆さんには、図書室の環境整備などにも、日頃からお世話になっています。ありがとうございます。



★夏休みの作品展・・・自由研究や学年課題の作品展

夏休みの課題の中に自由研究がありました。理科の自由研究や家庭科や図工科の作品づくりなど、子どもたちの興味・関心で選択して取り組んでいました。理科の自由研究コンクールに提出する作品を中心に、理科室で作品展が開催されました。このように優秀な作品を見ることを通して、来年の自由研究のヒントを得ることができ、レベルアップを図れると思います。また、5年生の廊下には、家庭科のかわいい作品が展示してありました。



★そだての会役員・部長会開催・・・夏休みの活動、2学期の行事について

9月4日（水）に、そだての会役員・部長会を開催しました。夏休み中の活動についての報告し、2学期の活動について話し合いました。今年は11月2日（土）に、ここにこふれあい学級が開催されます。文化教養部長さんからは、案について報告があり、これから文化教養部会の皆さんと詳細について検討していくことになっています。広報部では、1学期末に協力いただいたアンケートを広報誌にまとめて発行する予定です。



★力強い筆書きで「神明」・・・敦賀気比ユニホームの校名を書いた山田さん

夏の甲子園大会で県代表の敦賀気比高のユニホームの校名を書かれた書道家の山田さんが、夏休みの最終日8月30日（月）に来校され、校名「神明」を力強く書いてくださいました。敦賀気比高には、本校の卒業生もあり、甲子園にも出場していました。そんな話しながら、山田さんは「うーん、よいしょ。」と力強い声を出しながら筆を走らせていました。我々は、その迫りに圧倒されながら、その様子を見学させていただきました。

